

# 令和3年度 都立王子特別支援学校 学校経営報告

## I 目指す学校

### 校訓 「自立に向かって 確かな学び」を実現する学校

「確かな学び（専門性の高い学び）」の場を築となり、地域社会と連携して児童・生徒を社会自立に導く学校

## II 学校教育目標

- 夢をもち、その実現に向かってチャレンジする意欲を育てる
- 地域の一員として進んで社会に参加し、自立して生きる態度を育てる
- 自らを表現し、他人を尊重し協力する社会性を育てる
- 基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心と体を育てる

## III 重点目標への取組と自己評価

自己評価：◎達成 ○概ね達成 △もう一息 ×未達成

重点目標	数値目標 等	評価
<b>学習活動</b>		
① 新学習指導要領に基づいた個別指導計画の書式を整備し、指導の充実を図る。	全学年実施	◎全学年で実施
② 担当する授業を基に研究グループを作り、月一回の研究会を実施する。グループ内で研究授業を行いながらシラバス(単元配列表)の充実を図る。	全教員	◎月一回の研究会を実施し、2月に全校研究会を講師を招いて実施。
③ 全教員が1授業について指導細案の作成を通して、授業力の向上を図る。授業は公開する。指導細案は、年度末に全員分まとめて研究集録に掲載する。	全教員	◎研究授業にて実践
④ 自閉症の特性に応じた「社会性の学習」等の指導の研究と実践を行い、その結果を上記研究集録に掲載する。	全教員	◎自閉症学級の担当教員を中心に実施。
⑤ 外部専門員を活用し、教科指導等の充実を図る。		◎年次研修者の指導に導入することにより、指導力の向上につながることができた。
⑥ 教室環境チェックリストを活用した学習環境の整備	年3回	◎年3回実施
⑦ 「日常生活の指導」、「遊びの指導」、「生活単元学習」、「作業学習」等各教科を合わせた指導について、教科と関連付けながら、個にあった目標や指導内容を工夫する。		◎教科部会、研究授業等で実施
⑧ 適切な目標のもとに漢字検定へ参加し、漢字への興味関心を高める。		◎3級(1名)6級(4名)7級(6名)8級(5名)9級(4名)10級(5名)25名(61%)合格
⑨ アートプロジェクト展への応募	20人以上	◎21名が一次審査応募して2名が入選。
⑩ 王子カルチャーロード・ギャラリーへの出品、「十条商店街 お休み処」への作品展示を行い、児童・生徒の芸術活動への意欲を喚起すると同時に、地域への広報を行う。		◎全学部の児童・生徒美術作品、高等部作業班製品、書道部作品を展示。
⑪ 都教育委員会指導部の芸術教育推進事業に参加し、児童・生徒の芸術に関わる諸能力の開発向上を図る。		◎東京芸術大学と連携して、高等部1年、3年の美術作品を使って地域交流室(王子カフェ)の装飾をデコレーションした。
⑫ プランターを含め校内の花壇を徐々に増やし、花の栽培を促進す	全校	◎全学年でオリパラ開催に向

	る。		けてフラワーレーンプロジェクトに参加
⑬	学部間学年間で学校生活支援シート、個別指導計画等資料を活用して、児童・生徒のケースの引継ぎを十分行い学習のつながりを確保する。		○個別指導計画の書式を見直しを行い、学年間の移行をスムーズに行った。
⑭	現場実習での評価を速やかに授業に反映するシステムを整備する。		△今後システム化に向けて現在試行段階である。
⑮	「情報処理技能検定試験（表計算）」「情報処理技能検定試験（エクセル）、日本語ワープロ検定試験（ワード）に参加する。		◎「情報処理技能検定試験（Excel）4級（3名）3級（1名）合格。文章入力スピード認定試験（Word）6級（2名）5級（3名）4級（1名）準2級（1名）準1級（1名）合格
⑯	小学部5年生から高等部1年生までのプログラミング教育を行う。		○プログラミング教育担当主任を置き、外部支援員と協同学習を行った。
⑰	統合学習支援サービス（Microsoft 365）を活用した教育を推進し、ICTを活用した学習の充実を図る。全校の学習教材等のフォームズへの集積と活用。オンライン学習の工夫。		◎コロナ禍で登校に不安のある児童・生徒に対してオンライン学習の充実を図った。また不登校生徒とオンラインを併用して学校とのつながりを継続した。
⑱	各学年にオンライン教育リーダーを置き、オンライン教育、ICT活用を推進する。	各学年1名	◎各学年にオンラインリーダーを置き、オンライン授業の推進を行うとともに、保護者会や面談でもICTを活用してオンライン開催を行った。

### 生活指導

①	「体罰ゼロ」の徹底	体罰研修年2回	◎2回実施
②	「いじめゼロ」を徹底する。		○学期ごとにアンケート実施
③	「事故ゼロ」を目指した安全指導の徹底	全教員	◎学期初めに安全ケース会実施
④	「自殺ゼロ」を目指したSOSの出し方に関する教育の推進		◎外部専門家と連携
⑤	SNS東京ルールを踏まえた児童・生徒への「SNSの正しい使用法」の指導の徹底	高等部	○毎学期保護者会で周知 セーフティ教室の実施
⑥	保護者と連携した計画的な一人通学の指導を行う	新規10名以上	◎16名完成。部分的な一人通学を含めると21名実施中
⑦	安全なスクールバスの運行	月1回	◎毎月連絡会を開催
⑧	放課後デイサービスと連携を図り、放課後の生活を充実させる	月1回	◎毎月連絡会を開催
⑨	新しい学校危機管理マニュアルに対応した避難訓練の実施		◎毎月実施
⑩	宿泊防災訓練の実施	高等部1学年	○消防署・北区防災課と連携実施
⑪	水害時の避難住民の受け入れについて北区と調整する		△調整中

### キャリア教育・進路指導

①	12年間の系統的発展的なキャリア教育の充実	講師招聘年2回	◎2名で年2回
②	作業学習における中学部と高等部の連携		○アドバイザー年4回
③	アセスメントを活用した、中・重度生徒の企業就労を実現する進路指導の充実	企業就労率50%以上 1年以内定着率90%	△企業就労率40% ◎1年以内定着率95%
④	「王子café」を計画的に営業する。		○校内対象にオープン
⑤	高等部クリーン班における除菌清掃指導の推進	企業就労者5人以上	○3人（他実習3人）
⑥	喫茶接客サービス技能検定を通し、王子caféの充実を図る。	級取得者10名以上	◎8名（受験者全員取得）
⑦	地域と連携した就業体験活動の実施	2件	◎5件
⑧	個別移行支援計画を作成と進路選択・決定	高等部第3学年	◎移行支援に活用

⑨ 支援機関と連携した卒業生の職場定着支援	夏季休業中	◎卒業後3年間のアフターフォロー実施
⑩ 小学部、中学部、高等部における系統性・連続性のある校外学習の充実	12月まで	○校外学習の系統性の整理
⑪ 児童・生徒数やポストコロナを見据えた行事や校外学習の在り方を検討する。		◎教育課程検討委員会を開催し行事・校外学習の見直し。
<b>特別活動・部活動</b>		
① 近隣の小中学校や副籍指定校と連携と交流及び共同学習の充実	年5回	○リモートを活用して実施
② オリンピック・パラリンピック教育を通じてスポーツへの関心を高める。	全学部	◎パラリンピック競技種目の体験実施。
③ 外部指導員を活用した部活動の推進	高等部	◎4部活で5名の外部指導員
④ どの生徒も参加できる部活動の充実	高等部	△プログラミング体験会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止とした。
<b>健康づくり</b>		
① 適切なアレルギー対応を行う	アレルギー研修年1回	◎3回実施
② 豊かな食生活を目指した食育の推進を図る	年3回	◎全職員周知
③ 基本的な生活習慣の定着等健康教育の充実		◎年3回実施
④ 健康づくりの推進を図るための保健だより及び給食だよりの発行		◎毎月発行
⑤ 性教育やがん教育を含む健康教育、歯科保健指導の実施	◎歯科：年5回 性教育、がん教育：高等部：年2回	◎性教育、がん教育 ※歯科保健指導は、感染拡大防止のため、中止。
⑥ 精神科校医や心理士等と連携した心の健康維持	年10回	◎10回実施
⑦ 給食配膳下膳マニュアルの作成と安全な給食提供		◎作成、全教職員周知
<b>広報・センター機能</b>		
① 学校のホームページによる保護者や地域向けの情報発信		◎毎月更新
② 特別支援学校に対する理解推進のため、講演会、学校間交流、学校便り、出前授業、教育相談活動等の内容の充実		◎お便り、作品展等で交流 リモート交流の実施、学校間交流前の出前授業1回
③ 放課後デイサービスへの支援の充実	連絡会年2回	○放課後デイサービス連絡会1回開催 その他：事業所の職員研修に協力
④ 副籍交流の充実を目指した出前授業の実施		○2件実施
⑤ 「専門性向上事業」の実施		◎今年度、豊島区立小、中学校特別支援教室担当職員研修への協力、北区立中学校へのインクルーシブ教育に関する研修の協力、文京区特別支援学級担任会への協力
⑥ 理解啓発研修会の実施と充実		◎オンラインで夏季理解推進研修会2回開催
⑦ 小学校、中学校、高等学校の連合コーディネータ会議実施と連携		◎リモートで3回開催 その他：高等学校での職員研修会2校、ケース検討会2校
⑧ 中部フェスタ参加を通して高等学校等との連携と理解啓発	連携1校	感染予防対策の観点から中止 Twitterによる学校紹介に参加
⑩ 授業参観、学校公開等コロナ禍での効果的な広報を工夫する。	年2回	◎分散開催を行い実施
<b>人権に配慮した教育活動</b>		
① 本校教職員として丁寧な対応と挨拶の徹底		○教員向けビジネスマナー研修実施
② 教職員の人権意識を高め、生徒に対しては「さん」付けの徹底		○肯定的評価8割

③ 個人情報管理についての規定を強化し、個人情報紛失防止の徹底する。机上に本棚は置かないクリーンデスクの取組		○本棚設置なし
④ 「服務事故ゼロ」を徹底する		◎服務研修年 3 回
<b>その他</b>		
① 新型コロナウイルスの適切な対応	通年	◎下校後の消毒の徹底
② 実習棟倉庫の整備		◎7 月完成予定の体育倉庫・防災倉庫の予算確保
③ 一般需用費のセンター執行率向上推進	60%以上	△59.3%
④ 「働き方改革」に対応し、月 45 時間以上時間外労働を行う人を 20 人以内にする。週 1 回 6 時閉庁の推進		△週 1 回の定時退勤日を設定し、全教職員に定時退勤者を 20 人以内にするように努めたが、実施できない月もあった。
⑤ 分掌の職務の整理及びマニュアル作成		○業務内容表に基づく、業務分担及び進行管理等の実施。業務内容の整理、見直し。(年度末)
⑥ 経営企画室の経営参画による円滑な学校運営		◎週 3 回経営会議実施
⑦ 副校長マネジメント支援員を有効に活用し、副校長の職務の効率化を図る。		◎支援員と副校長業務の精選を行うことで業務の効率化を図ることができ、副校長業務の 30%程度の軽減を行うことができた。
⑧ 保護者会、その他諸会議についてオンラインの有効活用を図る。		◎コロナ流行に伴いオンラインを併用して開催した。
⑨ 外構工事等が進行する中で、安全に配慮し、学習を保証する		◎工事の定例会議に毎週教員を出席させ、安全に配慮した学習の保証ができた。